

# 開腹下腸(小腸・大腸)切除術を受けられる患者さんへ

主治医:

受け持ち看護師:

項目	入院	入院翌日～手術前日	手術当日	術後1～4日目	5日目～退院
達成目標	・術前オリエンテーションが理解できる		・症状を伝えることができる	・離床することができる	・退院指導内容を理解できる
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	・持参された薬の確認を薬剤師が行います	・麻酔科より説明があります ・手術に必要な物品を揃えます ・午後と寝る前に下剤を飲みます ・手術前日の昼食から食事が止まります。夕方頃より点滴を始めます	・朝6時に浣腸を行います ・手術から帰って来たら心電図、フットポンプを装着します	・創部の確認を行います ・医師が診察し点滴、ドレーン(管)を抜きます (日程未定)	・創部の確認を行います
検査	・身長、体重測定 ・採血 ・肺機能 ・心電図 ・レントゲンを行います	・採血 ・大腸カメラ(日程未定) ・CT撮影(日程未定)を行うことがあります	・手術後に採血、レントゲンがあります	・必要時採血、レントゲンがあります	
活動・安静度	・特に制限はありません	 	・手術後はベッド上安静となります	・状態に合わせて看護師と一緒に歩きます	・特に制限はありません
食事	・特に制限はありません	・手術前日の朝から食事形態が変更しますので、病院食以外は食べないようにして下さい ・水は飲めます	・飲んだり食べたりすることができません	・医師の診察後に水分、食事が始まります。それまでは何も飲んだり食べたりすることができません	・特に制限はありません
清潔	・特に制限はありません	・へその掃除を行います ・入浴を行なってもらいます	・清潔ケアは行いません	・状態に合わせて体拭き、またはシャワー浴を行います	・特に制限はありません
排泄	・特に何もありません		・朝6時から浣腸を行います(便は流さず看護師に見せて下さい) ・尿の管が入ります ・手術後、便がしたい時はナースコールでお知らせください	・状態をみて尿の管を抜きます	・特に制限はありません
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	・パンフレットを使用し、オリエンテーションを行います ・手術の入室時間、手術時間、家族に来院していただく時間について説明を行います		・絶飲食の必要性、ベッド上安静、離床の重要性 ・ナースコールの使用方法 ・貴重品、危険物の持ち帰り ・手術中の家族待機場所、待機中の注意点 ・排ガス、排便の有無、便性状の観察について説明します		・パンフレットに沿って退院指導を行います
備考					

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承下さい。